

厚生労働省委託事業・緩和ケア普及啓発 オレンジバルーンプロジェクト（OBP）

日本緩和医療学会 委託事業委員会

緩和ケア普及啓発WPG

濱 卓至

厚生労働省委託事業・緩和ケア普及啓発 オレンジバルーンプロジェクト（OBP）

- 2007年4月厚労省は、一般市民に対して「緩和ケアは死を待つだけのあきらめの医療」といった誤った考え方を改め、「緩和ケア」の正しい知識を持つことを目的とした緩和ケア普及啓発事業の実施計画を立案

厚労省 がん対策・健康増進課



日本緩和医療学会 委託事業委員会 緩和ケア普及啓発WPG

緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会（11団体）

2007年度～ 日本ホスピス緩和ケア協会、日本死の臨床研究会
日本ホスピス・在宅ケア研究会、日本がん看護学会
2009年度～ 日本緩和医療薬学会、日本サイコオンコロジー学会
2012年度～ 日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会
日本放射線腫瘍学会、日本ペインクリニック学会
2013年度～ 日本麻酔科学会

シンボルとしてのロゴマーク

- 暖かい色であるオレンジは、すべての苦痛症状をほんわりとやわらげたいという思い
- バルーンに描いた顔のような表情に、患者さんと一緒になりたいという思い



事業展開のプロセス

2007年度（1年目）

対象：一般市民全体

方略：組織体制づくり、普及啓発グッズの制作、ロゴマークの制作、Webサイト開設

協力依頼：がん診療連携拠点病院、各都道府県がん対策関連部署、日本医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、がん医療・緩和ケア関連団体、厚生労働省広報室報道係

2008年度（2年目）

対象：一般市民全体

方略：普及啓発グッズの追加制作、緩和ケアチームの広報、市民公開講座等のイベント開催、新聞オリコミ広告、ラジオ放映、ロゴマークの商標登録

調査：一般市民を対象とした緩和ケア認識度調査

連携：日本ホスピス・緩和ケア協会、日本死の臨床研究会、日本ホスピス・在宅ケア研究会、日本がん看護学会

協力依頼：がん診療連携拠点病院

2009年度（3年目）

対象：一般市民全体

方略：普及啓発グッズの追加制作、市民公開講座等のイベント開催、ラジオ放映、新聞広告（全国紙）、緩和ケアチームリーフレットの制作、Webバナー掲載、ACジャパン申請、PEACEスライドへ追加、参加団体の活動報告ページ新設

調査：マーケティング調査、新聞広告掲載後の反響調査

連携：4団体に加え、日本緩和医療薬学会、日本サイコオンコロジー学会

協力依頼：がん診療連携拠点病院、緩和ケア医師研修関連施設、郡市区医師会、都道府県医師会、指導者研修会修了者

2010年度（4年目）

対象：一般市民全体→がん患者およびその家族

方略：普及啓発グッズの追加制作、緩和ケアチームの広報、市民公開講座等のイベント開催、新聞広告（全国紙）、Webバナー掲載、ACジャパン申請、サイト訪問者解析ソフト導入

調査：マーケティング調査、新聞広告掲載後の反響調査、一般市民を対象とした緩和ケア認識度調査

連携：6団体

協力依頼：がん診療連携拠点病院、緩和ケア医師研修関連施設

2011年度（5年目）

対象：一般市民全体→がん患者およびその家族

方略：普及啓発グッズの追加制作、市民公開講座等のイベント開催、ACジャパン申請、新聞広告（全国紙）、啓発動画放映、緩和ケア情報カードラック設置、Webサイト全面改修

調査：サイト訪問者解析ソフトによる解析、新聞広告掲載後の反響調査、マーケティング調査

連携：6団体

協力依頼：がん診療連携拠点病院、緩和ケア医師研修関連施設、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本放射線腫瘍学会

2012年度（6年目）

対象：医療従事者→がん患者およびその家族、一般市民全体

方略：普及啓発グッズの追加制作、市民公開講座等のイベント開催および開催報告の各紙、Webページへの掲載、新聞広告（地方紙）、啓発動画放映、緩和ケア情報カードラック設置、Webサイト全面刷新、NHK出版「きょうの健康」への広報記事掲載、facebookページ開設、メディアツールキット作成

調査：サイト訪問者解析ソフトによる解析

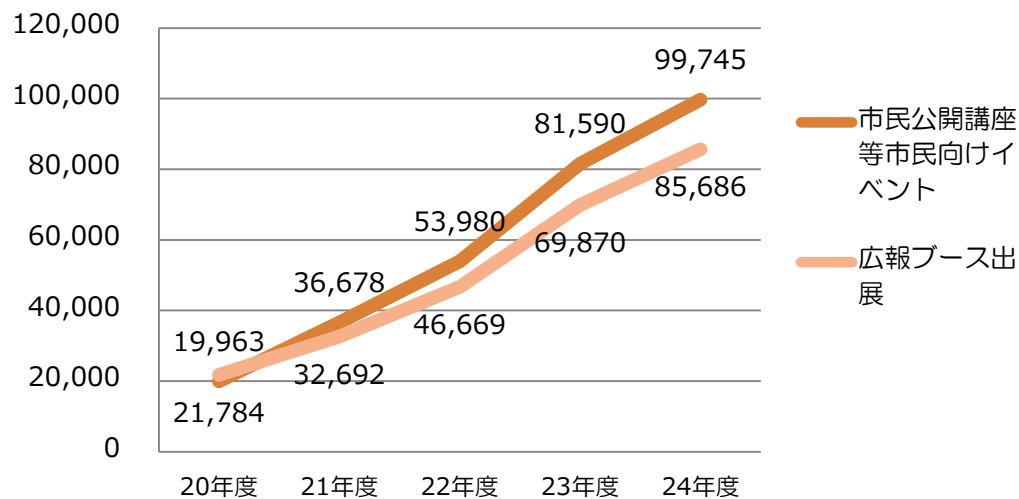
連携：6団体に加え、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本放射線腫瘍学会、日本ペインクリニック学会

協力依頼：がん診療連携拠点病院、緩和ケア医師研修関連施設

①市民公開講座等のイベント開催



イベント参加者数累計



広報ブース出展



制作物の配布



②緩和ケア普及啓発のための制作物



ちらし表・裏A4サイズ



ピンバッチ

携帯ストラップ

携帯クリーナー



風船(表)



風船(裏)

相談カード

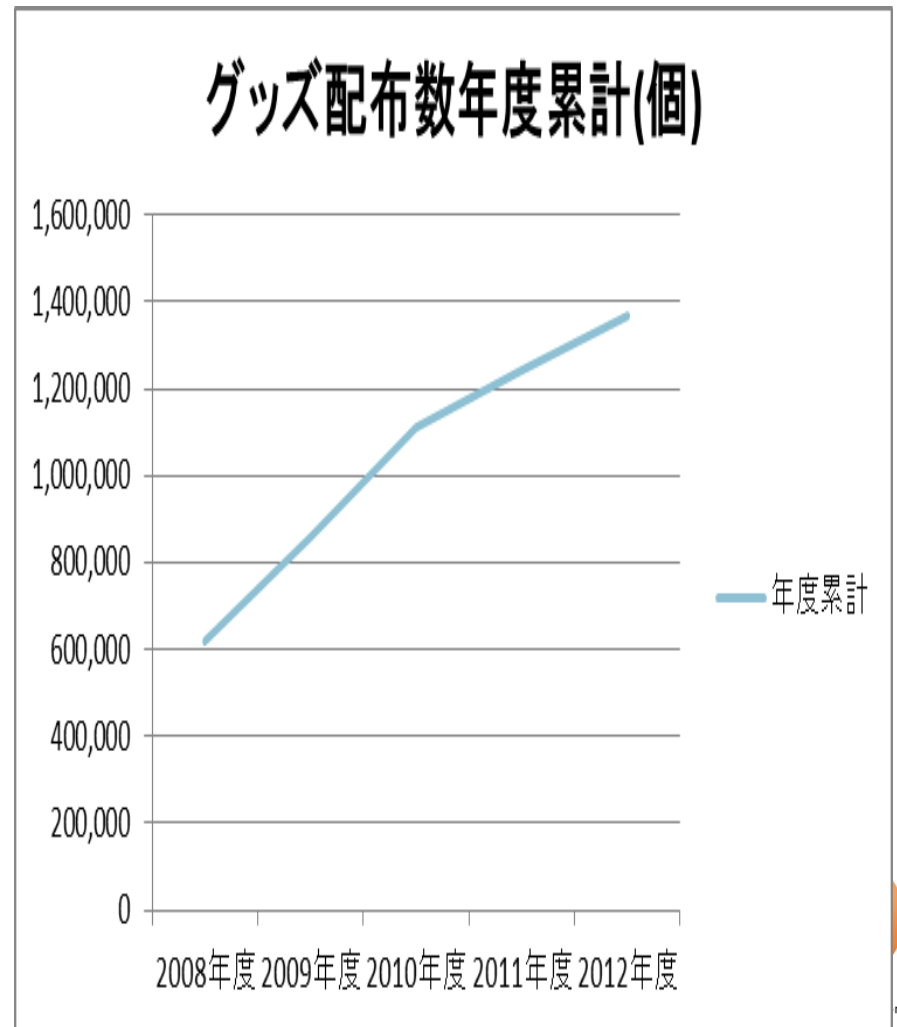


Orange Balloon Project

制作物の配布状況 (2008-2012年)

制作物	個数
ポスター	10,581枚
チラシ	741,329枚
リーフレット	148,843枚
ピンバッジ	155,727個
風船	98,952個
携帯クリーナー	106,796個
携帯ストラップ	101,674個
DVD	1,330枚

発送件数：2,255施設



医療従事者用「緩和ケア」説明ツール

- 緩和ケアに関する説明や普及啓発活動を行う際に活用できる
【Smart Brief 2013 がんと診断された時からの緩和ケア】と題する資料を制作し、全国のがん診療連携拠点病院に送付



緩和ケアに対する正しい認知形成のためのバリア

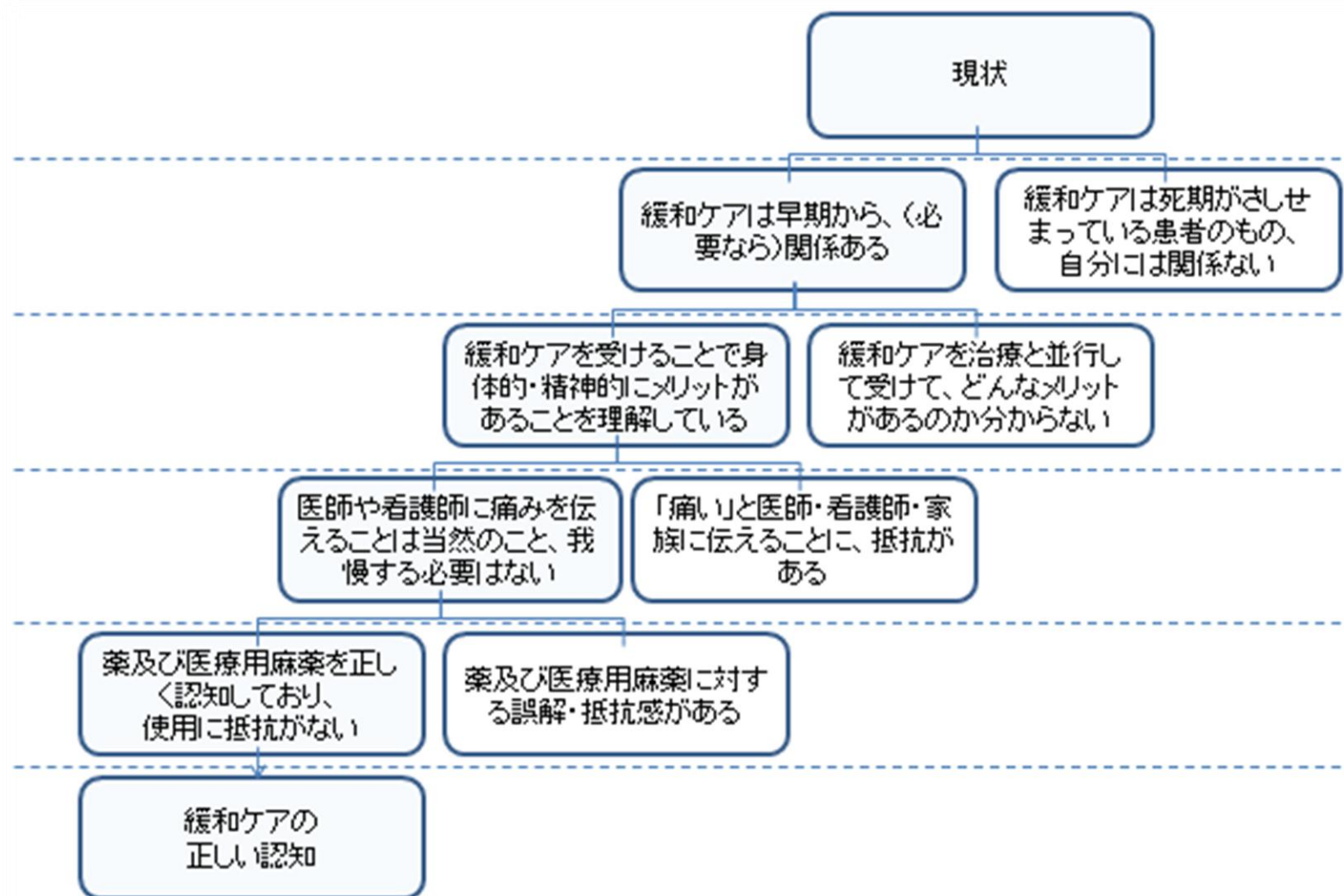
(2011年面談聞き取り調査より)

1. 「緩和ケア」は死期がさし迫っている患者のもので、自分には関係がない。
2. 緩和ケアを治療と並行して受けることで、どういうメリットがあるのか分からない。
3. 「痛い」と医師・看護師・家族に伝えることに対して抵抗がある。
4. 薬の摂取量が増えることに対して抵抗がある。
5. 緩和ケアで使われる医療用麻薬に対して抵抗がある。

緩和ケアに対する正しい認知形成のための課題 をどう解決するか

1. 「緩和ケア」は死期がさし迫っている患者のもので、自分には関係がない。
⇒がん治療の一環であることの周知
2. 緩和ケアを治療と並行して受けることで、どういうメリットがあるのか分からない。
⇒行動の利益（身体・精神的にどうなるか）の周知
3. 「痛い」と医師・看護師・家族に伝えることに対して抵抗がある。
⇒医師からの支持・保証
4. 薬の摂取量が増えることに対して抵抗がある。
5. 緩和ケアで使われる医療用麻薬に対して抵抗がある。
⇒医療用麻薬の正しい知識の啓発

緩和ケアの正しい認知の為のperception flow



今後の展開

緩和ケア普及啓発活動の戦略

対象：ターゲット (WHO)	目標：何を伝えるか？ (WHAT)	方法：どうやって伝えるか？ (HOW)
一般市民	「緩和ケア」という言葉	「説明文」の作成 - メディア、ホームページ - 市民公開講座
患者・家族	- つらさを訴えてよいこと - 治療中から緩和ケアが利用できること	- 院内で流すDVD - ポスターやリーフレット： 「つらさを訴えて下さい。」
医療従事者 (がん治療医、メ ディカルスタッフ)	「診断時からの緩和ケア」の概念・内容 - つらさの受け止め方	- 医療系雑誌等への特集記事 - 普及啓発資材の配布 - 医療従事者の教育 - シンポジウム等の開催
日本緩和医療学会員	医療従事者への伝え方	シンポジウム等の開催
がん関連団体 学会・患者会・企業	「診断時からの緩和ケア」の概念・内容	- 広報ブース、合同シンポジウム等の開催 - 患者会や企業での説明会
行政	がん医療における緩和ケアの重要性	制度の問題点についての意見を伝える

緩和ケア普及啓発活動の戦略

対象：ターゲット (WHO)	目標：何を伝えるか？ (WHAT)	方法：どうやって伝えるか？ (HOW)
一般市民	「緩和ケア」という言葉	「説明文」の作成 - メディア、ホームページ - 市民公開講座
患者・家族	- つらさを訴えてよいこと - 治療中から緩和ケアが利用できること	- 院内で流すDVD - ポスターやリーフレット：「つらさを訴えて下さい。」
医療従事者	「診断時からの緩和ケア」の概念・内容	医療系雑誌等への特集記事 普及啓発資料の配布

限られた予算と人的リソース

日本緩和医療学会員	医療従事者への啓発	シンポジウム等の開催
	「診断時からの緩和ケア」	広報ブース、合同シンポジウム

より対象を明確化したメリハリのある
普及啓発活動を展開予定

緩和ケア普及啓発活動の戦略

対象：ターゲット (WHO)	目標：何を伝えるか？ (WHAT)	方法：どうやって伝えるか？ (HOW)
一般市民	「緩和ケア」という言葉	「説明文」の作成 - メディア、ホームページ - 市民公開講座
患者・家族	- つらさを訴えてよいこと - 治療中から緩和ケアが利用できること	- 院内で流すDVD - ポスターやリーフレット： 「つらさを訴えて下さい。」
医療従事者 (がん治療医、メ ディカルスタッフ)	「診断時からの緩和ケア」の概念・内容 - つらさの受け止め方	- 医療系雑誌等への特集記事 - 普及啓発資材の配布 - 医療従事者の教育 - シンポジウム等の開催
日本緩和医療学会員	医療従事者への伝え方	シンポジウム等の開催
がん関連団体 学会・患者会・企業	「診断時からの緩和ケア」の概念・内容	- 広報ブース、合同シンポジウム等の開催 - 患者会や企業での説明会
行政	がん医療における緩和ケアの重要性	制度の問題点についての意見を伝える

緩和ケア普及啓発に関する活動の方向性

- 全体に関する活動
 - 緩和ケアについての新しい「説明文」の作成
 - 普及啓発ツールの作成
- 医療従事者に向けた活動
 - 各地でのシンポジウム開催（医療系雑誌やメディアとの連動）
 - 各関連団体の学術大会での広報ブース出展
 - 緩和ケア研修会修了者用のバッジ作成
 - 関連団体や拠点病院を通じたツール等の周知
 - ホームページの充実
- 市民に向けた活動
 - 参加団体や関連団体の市民公開講座やイベント
 - 全国の医療従事者からツールを使った普及啓発
 - ホームページの充実